

【資料3】 今年度の各主体の取り組み内容

- 3-1. 沖縄県の取り組み内容
- 3-2. 那覇市の取り組み内容
- 3-3. 地域の取り組み内容
- 3-4. 事業者の取り組み内容

取り組み・事業の分類

令和4年度の対象事業 ※【参考資料2】ロードマップ、事業計画・評価シート参照

- 首里杜地区整備基本計画のロードマップに示した各事業は、協議会との関わりや進め方といった点から、以下の2つに分類される。

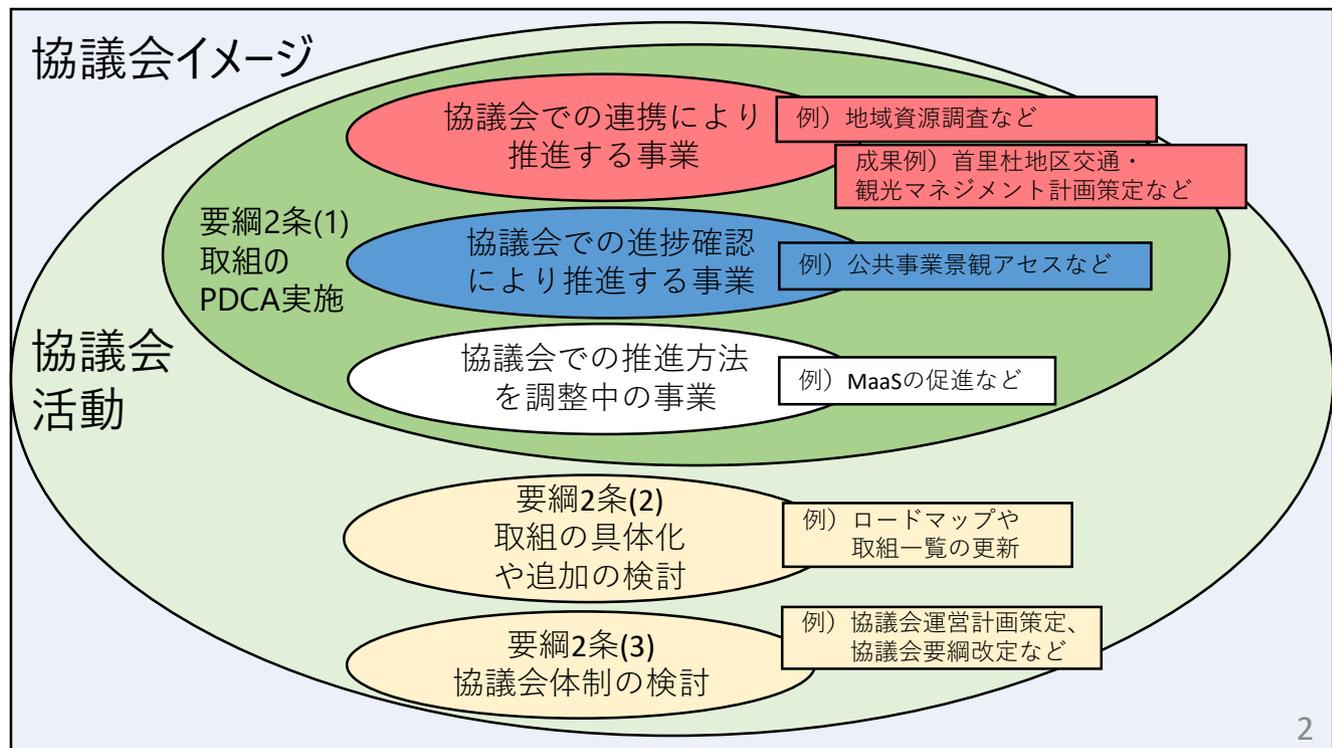
■ 協議会での連携により推進する事業

- ✓ 事業の進め方や内容の検討
- ✓ 調査の実施 等

■ 協議会での進捗確認により推進する事業

- ✓ 行政が主体となって進めている過年度からの継続事業など

- 令和4年度をはじめ各年度の取り組みは、おおむねロードマップに沿って計画していくものとする。各事業への取り組み状況は別添のロードマップ、事業計画・評価シートにまとめる。
- 協議会により推進する事業のうち、とくに今年度の各事業主体の主な取り組みとして報告するものを次頁以降にまとめる。



取り組み・事業の分類（参考：沖縄県関連ロードマップ）

協議会での連携により推進する事業

協議会での進捗確認により推進する事業

方針	中項目	小項目	取り組みNo	事業分類	事業	事業主体	前期（5年）				
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	① 古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	No4		無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財)		設計		
			No5		公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施				
	③ 共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	No11		沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等				
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	① 幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	No15		第32軍司令部壕保存・公開	新規 県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討				
			No16		中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計		工事		
			No17		円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事				
			No18		龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計		工事等(順次実施)		
	② 拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	No20-1		指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	新規 県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)				
③ 歴史文化資源の魅力向上や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	No21-1		地域資源の調査及び修景等	新規 県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	調査・設計		整備等(順次実施)		
(3) 暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり	① 暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善	主要渋滞箇所の対策	No22		渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証				
			駐車場マネジメント	No23		首里杜館駐車場の大型バス予約制による平準化	新規 県(首里城復興課・都市公園課)	システムの開発	試行	運用	
				No24		駐車場の満空情報の発信・誘導(首里杜館及び周辺駐車場)	新規 県(首里城復興課・都市公園課)	調査・検討		試行	運用
	公共交通の利用促進	パーク&ライドの推進(てだこ浦西駅、崎山P&R等)	No25		パーク&ライドの推進(てだこ浦西駅、崎山P&R等)	新規 県(首里城復興課)	広報・啓発活動、利用促進策の検討・実施等				
			No27		循環バス、シャトルバス等の導入促進	新規 県(首里城復興課)	イベント時における実証実験				
		No28		MaaSの促進(シームレスな移動環境の提供)	公共交通事業者						
		No29		シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策)	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)	運用中	運用中・サービス規模の向上検討				
		No30		モビリティ・マネジメント	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)	モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発					
	観光地マネジメントの推進	観光客の受入体制等の整備(DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等)	No31		観光客の受入体制等の整備(DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等)	新規 県(首里城復興課、観光振興課)	観光客の受入体制等の整備	DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等			
			No32		サステナブル、レスポンスブル、ユニバーサルツーリズムの推進	新規 県(首里城復興課、観光振興課)	首里観光のあり方検討	周遊、案内サインやICTを活用した案内策など			
		No33		ビッグデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証(TDM施策推進アクションプログラム)	新規 県(交通政策課)	TDMデータ分析プラットフォームの活用					
② 安全・安心で歩きたくなる市街地の形成	安全・安心で快適な暮らしを支える道路整備	No35		龍潭線街路整備事業	県(道路街路課)	拡幅整備(平成11年～)					

3-1. 沖縄県の取り組み内容

個別の調査を実施するとともに、それらを踏まえて「首里杜地区交通・観光マネジメント計画」として交通・観光に関する対応をとりまとめていく。（R4年度骨子、R5年度とりまとめ）

地域資源調査No21-1 【地域・大学連携】

- ・首里杜地区整備計画図およびそのベースとした那覇市文化遺産
悉皆調査、首里まち研作成のマップをもとに、現存するが**未活用・未整備の資源**を拾い出す（案）

サステナブルな首里のまちづくりに向けた検討No32 【地域・大学連携】

- ・WSを実施し、「周遊」という切り口から、地域資源の活用方向性やこれからの交通・観光のありかたについて考え、共通認識を育む
- ・地域や大学との連携を通して検討を深める

交通関係調査 No23～25、27 ※詳細次頁

- ・首里杜館駐車場大型バス予約制による平準化
- ・公共交通利用促進に向けた予備調査
- ・シャトルバス運行効果及び課題検討
- ・周辺駐車場満空情報発信・誘導に向けた調査

「首里杜地区交通・観光マネジメント計画（骨子案）」作成（令和4年度）

「首里杜地区交通・観光マネジメント計画」策定（令和5年度）

3-1. 沖縄県の取り組み内容

骨子案に反映する各調査の内容と連携体制

交通関係調査

■首里杜館駐車場大型バス予約制による平準化【連携：SCSK,沖縄美ら島財団】

- ・大型バスを対象に、満空表示と予約システムを導入するためのシステム開発及び機器設置、運用条件検討を実施する。
満空表示・予約システム：2023年試行開始

■公共交通利用促進に向けた予備調査【連携：SCSK,沖縄美ら島財団,地域事業者】

- ・パーク＆ライド推進、MaaS促進、シェアサイクル促進などの取り組み状況を把握し、課題整理や今後の取り組み方の検討を行う。

■シャトルバス運行効果及び課題検討【連携：沖縄美ら島財団】

- ・首里城復興イベント時に来場者アンケートを行い、シャトルバスの効果や課題を検証する。
(10/29,30,11/3)
調査項目案：属性/アクセス移動手段/目的のイベント/シャトルバス満足度・改善点/公共交通利用条件 等

■周辺駐車場満空情報発信・誘導に向けた調査

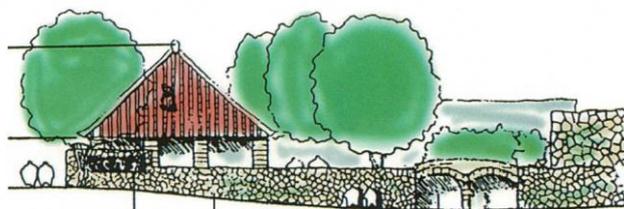
- ・首里城周辺の渋滞発生抑制方策のひとつとして、駐車場満空情報発信にむけた基礎調査を実施する。
- ・民間駐車場の立地状況や事例整理、満空情報発信に関する意向把握、課題整理の実施。

3-2. 那覇市の取り組み内容

・住民による修景整備（赤瓦、石垣、緑化等）への助成制度（龍潭通り沿線地区、首里金城地区） **No1関連**

・都市景観形成地域に指定している、首里金城地区及び龍潭通り沿線地区における建設工事等において、都市景観の形成に著しく寄与すると認められる行為に係る経費の一部（琉球赤瓦や琉球石灰岩等による修景費用）に対し、助成金を交付する。

首里金城地区



10メートル以下

軒高7メートル以下
外壁、窓枠、軒裏等は原色などの不調和な色彩を用いず、歴史的、伝統的景観に留意し、これと調和するものとする。

サイン類の誘導・規制

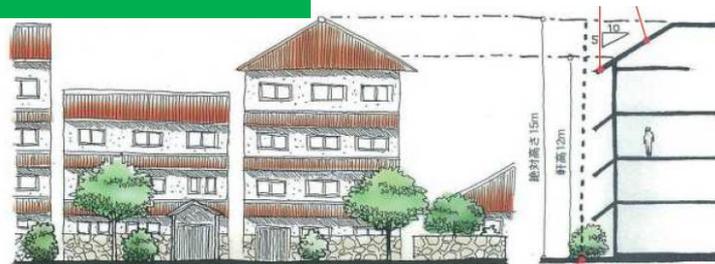
広告塔・立看板等：高さ2メートル以下、2ヶ所まで、2平方メートル以下。
原色等の不調和な色彩又は装飾、人工的な素材等で、歴史的、伝統的景観を損なわない。

サイン類：形態は矩形とし、統一を図る。文字の書体の統一。
地色は無彩色又は茶系統

共同井戸等の保全・活性化



龍潭通り沿線地区



立面イメージ

道路境界線

断面イメージ

- ・屋根の高さは、首里城からの眺めを考慮した設定になっています。
- ・また対面道路から赤瓦が見える設定でもあります。



3-2. 那覇市の取り組み内容

・都市計画道路大中細街路に関する都市計画変更について

No.36関連

<大中細街路の経緯>

●～当初決定

戦後、本格的な自動車社会の到来や急速な市街化が進む当時の社会情勢のもと、「地域内の交通処理や土地利用の誘導を図り、住環境や都市防災の向上」を目的として、1960年(昭和35年)に大中細街路が都市計画決定した。

●当初決定～現在

首里城への観光交通や龍潭線等幹線道路の整備、沖縄都市モノレールの開通等、周辺の交通環境の変化により地域の交通環境にも変化が生じたため、当該都市計画道路の位置付けを見直す必要が生じた。

●計画見直しに関する取り組み

当該都市計画道路の位置付けについて、平成28年度より地域の方々と意見交換会等を行った。

<主な意見>

- ・道路拡幅によって、抜け道とならないような通過交通の抑制
- ・車が通行し易くなり、交通量が増加しないような現道内での整備
- ・歴史、文化的資源が保存されるような計画への見直し

<計画見直し方針>

地域の意見や、首里杜地区整備基本計画の基本方針を踏まえ、都市計画道路を見直す方針とした。

- 通過交通を抑制する必要があること
- 廃止路線を代替える道路があること
- 文化財、文化的施設及びその他重要施設に影響を及ぼさないこと
- 道路構造上の問題を解消すること
- 現道と重複した都市計画道路で、局所的な改良で対応できること
- 都市計画道路による土地の分断を解消すること
- 歴史的・文化的資源を巡る周遊ルートを充実させること



3-3. 地域の取り組み内容

②琉球大学小野研究室と地域との連携

首里城周辺市街地の都市形成変遷 その1

琉球王朝時代から大正後期にかけて

陸聖仁・小野尋子

日本建築学会九州支部支部研究会

2020 429 - 432 2021年03月

首里城周辺市街地の都市形成変遷 その2

戦後の琉球大学建設と移設、首里城復興及び公園開園から焼失にかけて

新垣翔也・小野尋子

日本建築学会九州支部支部研究会 2020 433 - 436 2021年03月

16世紀から19世紀にかけての綾門大道と龍潭通りの正面性の変化に関する研究 首里城周辺市街地の都市形成変遷 その3

陸聖仁・小野尋子

日本建築学会全国大会梗概集 23 - 24 2021年09月

琉球大学移転、首里城公園開園に伴う学園都市から観光都市への変化による周辺市街地への影響に関する研究 首里城周辺市街地の都市形成変遷 その4

新垣翔也・小野尋子

日本建築学会全国大会梗概集 25 - 26 2021年09月

首里城下町の戦後の市街化に伴う土地利用の変化と湧水の現状に関する研究 首里城及び首里城下町の歴史的風土環境の保全に向けて

向井大瑛・小野尋子

日本建築学会九州支部研究報告集 2022年3月

③第30回「子どもの権利フォーラム2022inおきなわ」

12月10日 沖縄大学にて、首里まちづくり基金に関する分科会を開催予定

※首里まちづくり基金とは

首里社会議6団体、石嶺・城東・大名のまちづくり協議会が運営委員会を担い、オリオンビルなどの企業・団体・個人からの寄付金を元にした首里地域のまちづくりを支える基金。高校生ら地域の子もたちが参画して用途を決める。

④首里まちづくりコンテスト開催



多数のご応募ありがとうございました

本コンテストは、緑化の意義や効果をより多くの人に伝えるため、花や緑に関する様々な分野の関係者が連携を図り、また、賛同する行政・企業・個人等のご支援・ご指導等をいただき開催するものです。
 「古き首里らしくうまい風格のあるまちづくり」として、緑化の取組を首里全体の運動として推進します。
 住環境の改善や地域住民の生活の向上に寄与することを実践している沿道から見える事例に対し、その功績を顕表表彰します。
 このコンテストにより、首里地域の緑化の一層の普及推進を図り、豊かな生活の実現に寄与することを目的とします。



主催：特定非営利活動法人 首里まちづくり研究会（那覇市景観整備機構）

共催：首里振興会、首里同窓会文化局、豊後園遊園地、豊後園遊園地サークル
 後援：沖縄県、那覇市、一般財団法人沖縄美ら島財団、公社社団法人沖縄建築士会、一般社団法人沖縄県建設業協会、沖縄県緑化推進委員会、F.M. 財団
 協賛：株式会社イズマサ、UU株式会社、新垣製餅屋、沖縄県農業協同組合首里支店、カゼモ工房、河井精治法律事務所、有限会社建築空間設計工房、豊後園遊園地、有限会社首里城築（株）

3-4.事業者の取り組み内容

連携協定締結の背景



首里城公園及び周辺地域においてデジタル技術を活用した新しいまちづくりの推進

3-4.事業者の取り組み内容

連携協定における検討項目・解決すべき課題

項目	解決すべき課題	主な取り組み(構想)
0 首里城公園利用状況の可視化	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職員の勤に頼った運営判断 ・新たな施策に係る定量目標設定の省力化 	<p>定量値に裏打ちされた公園運営計画の立案 ⇒実効的な運営施策展開</p>
1 首里城公園及び周辺地域のさらなる魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人気観光資源への集中過密 ・観光経済効果の周辺地域への拡大 ・観光客満足度の向上 	<p>目的地型(点)から周遊型(面)へのシフトを促す仕組み作りによる観光資源有効活用 ⇒地域経済貢献/観光体験向上</p>
2 暮らしと観光が両立したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・首里城公園周辺の渋滞問題 ・駐車場運営の更なる高度化 ・観光客、来訪者の集中過密 	<p>観光客(観光事業者)の自発的行動変容を促す仕掛けづくりによる渋滞・駐車場問題の解消 ⇒地域・観光客の満足度向上</p>
3 ニューノーマルにおける新たな観光施設のありかたの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響による観光客の施設利用/イベント参加に係る不安の解消 ・運営側の対応負荷増大対策 	<p>「新しい生活様式」に則った観光施設・イベント運営の実現 ⇒観光客への安心・安全の提供/受入れ観光地側の対策負荷低減</p>
4 歴史を体現できる都市空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・住民目線の暮らしやすいまちづくりと、景観/歴史的資産の保全の両立 	<p>景観形成や建造物復元による歴史的風致の向上と、歴史に関するデジタルコンテンツの融合 ⇒魅力的な歴史まちづくり実現</p>
5 段階的整備、見せる復興に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・復興/復元過程の魅力的な観光資源化 ・正殿復元までの集客コンテンツ確保 	<p>段階的整備状況のデジタル技術を活用した発信による「見せる復興」 ⇒適切な情報発信によるリピート需要創出</p>
6 その他、地域活性化の促進、地域社会への貢献等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった首里城復興への取り組みの更なる活性化 	<p>産官学および地域による「共創」の場作り ⇒双方向コミュニケーション、共創による地域課題への取り組み</p>

3-4.事業者の取り組み内容

検討テーマ表題

項目	検討テーマ
0 首里城公園利用状況の可視化	現状見える化
1 首里城公園及び周辺地域のさらなる魅力の向上	来園者体験向上・周遊促進 <small>観光</small>
2 暮らしと観光が両立したまちづくり	駐車場マネジメント <small>造</small>
3 ニューノーマルにおける新たな観光施設のありかたの実現	ニューノーマル
4 歴史を体現できる都市空間の創出	<small>・住民目線の暮らしやすいまちづくりと景観 /歴史的資産の保全</small> 対応優先度により現時点で未着手(次ステップ対応) <small>景観形成や建造物復元による歴史的風致の向上と、歴史に関する ⇒魅力的な歴史まちづくり実現</small>
5 段階的整備、見せる復興に関すること	見せる復興
6 その他、地域活性化の促進、地域社会への貢献等に関すること	首里城復興DX共創ラボ

3-4.事業者の取り組み内容

各施策の概要(1/2)

現状見える化

首里城公園内および周辺地域において、目的や設置場所にあわせて、人物・車両の最適な測定・分析を実施



来園者体験向上・周遊促進

アプリ等で、来園者体験向上の施策を講じながら、それを顧客タッチポイントとして周遊促進など来園者の行動変容を促す

企画(首里城公園AR謎解きラリー)



駐車場マネジメント

駐車場利用の平準化を目指し、周辺道路渋滞の一要因とされている駐車場運営の効率化を図る

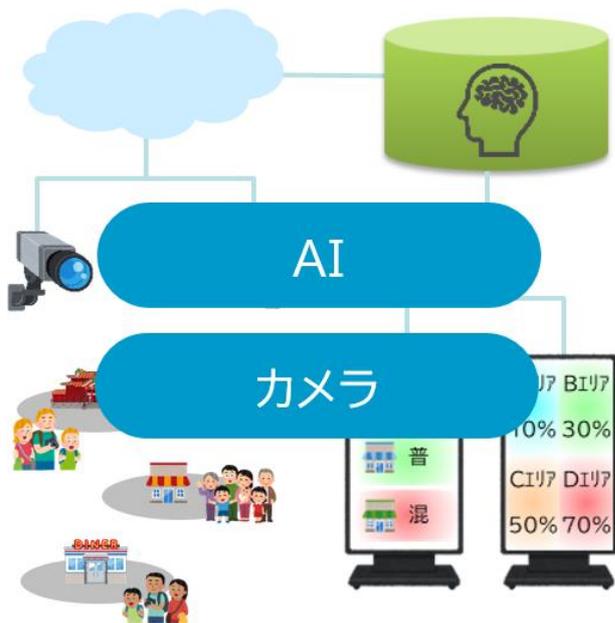


3-4.事業者の取り組み内容

各施策の概要(2/2)

ニューノーマル

ニューノーマルにおける観光施設やイベント運営の効率化・高度化に繋がる取り組みについて検討



見せる復興

首里城公園施設内の各種展示内容に様々なデジタル技術を取り入れることにより、復興断面の魅力を最大化する



各種展示技術

首里城復興DX共創ラボ

双方向コミュニケーションによる地域課題への取り組みのため、「共創」の場を作り、活動として活性化させる



沖縄県関係者